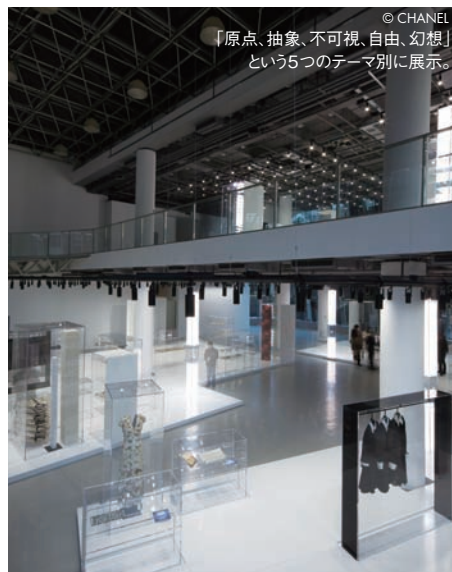


ELLE PLANET

NEW YORK
LONDON
PARIS
MILAN
BEIJING

世界のELLEから最新的话题をお届け!



© CHANEL
「原点、抽象、不可視、自由、幻想」という5つのテーマ別に展示。



© CHANEL
マドモアゼルが幼少期をすごした修道院を思わせる、オートクチュールのドレス。

SHANGHAI

メゾンの全貌に迫る「カルチャー シャネル」展

モダンアートの中心地として躍進する上海の当代美術館 (MoCA) で「CULTURE CHANEL」展がスタートした。今回の展示は現代美術とデザインのキュレーターとして名高い、ジャン・ルイ・フロマンが手がけていることでも話題になっている。歴史に残るデザインや、デザイン画、映像や原稿な

ど400点にも及ぶ展示品から、シャネルの世界観を紐解くこの展覧会。メゾンの歴史だけでなく、ジャン・コクトーやピカソ、ダリなどさまざまなアーティストとの交流から生まれたマドモアゼル・シャネルのクリエイティビティにも深く迫る。上海を訪れるチャンスのある人は必見の展覧会だ。



© CHANEL
■CULTURE CHANEL ~3月14日
上海当代美術館 (The MoCA Shanghai)
上海南京西路231号人民公園7号門
☎+86.21.63279900 z10:00~19:00
(土~月~21:30) 無休 culture.chanel.com



MIAMI

F・ゲイリーによる
コンサートホールが誕生

世界的な音楽家を育成するマイアミのニュー・ワールド・シンフォニーに、今世紀を代表する建築家のひとりフランク・ゲイリーによる新しいキャンパスが完成した。24mのガラスのカーテンのような外観に、彫刻的なインテリア、特に756席のコンサートホールは舞台と観客が一体となり、古いクラシックのイメージを打破すると話題になっている。

■The New World Symphony
500 17th Street Miami Beach FL 33139
☎+1.305.673.3330
www.nws.edu/



ベルガモット風味の塩漬けサバのサラダ。



調理を科学的に分析し、従来とはまったく違う手法を駆使した独自の料理で知られるヘストン。

■Dinner by Heston Blumenthal
Mandarin Oriental
Hyde Park, London
66 Knightsbridge, SW1
☎+44.020.7201.3833
🕒12:00~14:30,
18:30~22:30 無休
www.dinnerbyheston.com

LONDON

話題沸騰のシェフが
とうとうロンドンに進出!

ミシュラン3ツ星をもつカリスマ・シェフ、ヘストン・ブルメンタルが、ロンドン初のレストラン「ディナー・バイ・ヘストン・ブルメンタル」を、マンダリン オリエンタル ハイパーク ロンドンにオープンした。16世紀の英国料理をアレンジしたというメニューは、「モダンブリティッシュ」が主流のロンドンの食に一石を投じるのは間違いなさそう。



レザー、メタル、木材などを効果的に使ったインテリアは、アダム・D・ティハニーによるもの。

BEIJING

第二のチャン・ツイイーは、
白い紙のようにピュアな顔立ち

「ヒロインの涙で1億4千円(約18億円)を稼いだ」と評判の『サンザシの恋』は、チャン・イーモウ監督の最新作。'70年代の農村が舞台で、ヒロイン役の周冬雨(チョウ・ドンユイ)は一重まぶたの新人。白い紙のようだと監督に絶賛された。コン・リー、チャン・ツイイーに次ぐ謀女郎(張監督が発掘した女優)として、早くも世界的スターの呼び声も。



周冬雨はこの映画に出演するまで演技経験はゼロで、学校で目立たない存在だった。2作目の『湘江北去』では、毛沢東の妻を演じる。

Photo MEI YUAN GUL(Beijing) Text MAKIKO MONJI (Miami) MIYUKI SAKAMOTO (London) YUKI TAKIYA (Beijing)
*1\$=¥94.10=¥113.10=¥137(2月現在)



NEW YORK

SFテイストが面白い、バスク・バー

29丁目界隈は、昨年ホヘミアンテイストのAce Hotelがオープンするなど、いま注目の夜遊びエリア。6thアベニューに面したブティックホテル、エバンティの2階にできたバーラウンジ、バーバスクもそんなスポットのひとつだ。'80年代のSF映画『ブレードランナー』を思わせる赤い空間、セッ

トデザイナーのシッド・ミードが作り出した宇宙船のようなインテリアが面白い。料理はハワイ生まれの日系人Yuhi Fujinagaによる、スペインのバスク地方料理とモダンのミックスで、ぜひトライしてみたい新しい味。グラスでオーダーできるワインも32種と豊富に揃うのが魅力だ。



左上 上 スカーレットレッドの壁、黒のカクテルチェア、シアトリカルな照明が、シアターのような店内。'80'sのラウンジのオーラを感じさせる。
下 ワインとともに味わいたい、バスクの小皿料理。クリスピーフライドエッグは\$12

■Bar Basque
839 6th Avenue ☎+1(646)600.7150
🕒18:00~23:00(金、土~24:00)
www.chinagrillmgt.com

PARIS

テラスで朝食が名物、エレガントな新プチホテル

ホテル・ラッシュが続くパリにまた新しく2人の女性建築家によるフェミニンでエレガントな32室の4ツ星プチホテルが誕生した。「シティ」「プレミアム」「オープン・スペース」の3種の客室。最上階「オープン・スペース」のテラスからの、パリの屋根の眺めがホテルの自慢。天気の良い日には、太陽の下、テラスで朝食をいただくのがなにより贅沢。



左 プレミアムの部屋は、雲模様の壁で、なんだか空中に漂っているような錯覚に。客室料金はシティの€155からオープン・スペースの€370までと、お手頃。
上 サロンも、暖炉がとってこーじ。随所に有名デザイナーの家具を配しているのも話題。

■Hotel 7EIFFEL
17 Bis rue Amélie 75007
☎+33(0)1.45.55.10.01
www.hotel-7eiffel-paris.com/



NEW YORK

1980年代を彩ったヴィヴィアン・ウエストウッド展

'80年代に一世を風靡したデザイナー、ヴィヴィアン・ウエストウッド。ストリートファッションの旗手としてモード界に登場し、特に'85年に発表した英国史をベースにしたスタイルは、世界に強烈な個性をアピールし人々の心をつかんだ。今回の展覧会ではそんなパワー溢る'80年代にフォーカス。当時のショーやインタビュービデオなども必見だ。

■「Vivienne Westwood 1980~89」 3/8~4/2
The Museum FIT Seventh Avenue& 27th Street
☎+1(212)217.4558 🕒12:00(土10:00)~17:00
📅日・月 www.fitnyc.edu



左 '81年のユニセックスのPirateコレクション。
下 アイコニックな'87年の「Rocking Hours」ブーツ。センセーショナル時代を象徴するコレクションが見物。



4サイズ、各1000個という限定販売で、日本でも3月より展開。www.tumi.com

NEW YORK

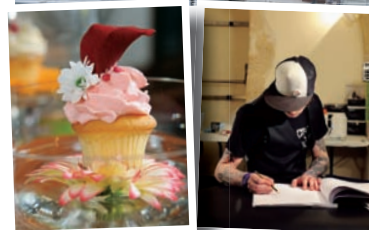
クラッシュ×トウミの旅するグラフィティアート

NYのブルックス生まれで11歳から地下鉄のグラフィティを描き、'81年には個展を開き、MoMAなどにも保存されるアーティスト、ジェン"Crash"モトス。「ストリートと社会をビジュアルでつなげる」と表現される彼のアートだが、3月にTUMIとコラボしたタグコレクションを発表。彼のユニークなアートワークをトラベルケースで楽しんで!

PARIS

ロックでファンシーが人気、ゴスな職人のパティスリー

伝統的な佇まいのビストロ・デュ・ブルミエだが、実は地下がヘヴィメタが鳴り響くタトゥーを入られるサロンで、1階では午後には、タトゥー入りのパティシエ、ギョームが作るカップケーキが食べられるサロン・ドゥ・テ、「ホラー・ピクチャー・ティー」を展開。ゴス、ロックな若者が集う、暗めの店内とは対照的に、彼のケーキは意外にファンシー! そんなコントラストがパリジャンに大受けだ。



上 レ・アール近くの店は伝統的な佇まい。
下左 ギョームが作るのは、タトゥー入りの彼からは想像できないファンシーなカップケーキ。€6
下右 地下ではオリジナル模様のタトゥーが。

■Bistrot du 1er, Horror Picture Tea
95, rue Saint Honoré 75001
🕒14:30~翌2:00 📅日・祝
www.horrorpicturetea.com/

Photo TATSUKE YOSHIDA (Paris), BILL HORIN, ERIC LAIGNEL (NY), Text MAKIKO MONJI (NY), MIYUKI SAKAMOTO (London), KAORUKO DUCASTELVASUDA (Paris)



ベルリンのギャラリーを貸しきって、ショーが行なわれた。

BERLIN

エスカーダスポーツのショー開催

1月のベルリンファッションウィークにて、エスカーダスポーツの初となるショーが行われた。今回のテーマは「フローズン・ティルズ」氷の国のおとぎ話。会場のエントランスに置かれたのは、氷の彫刻に潜むブーケ。生花を凍らせた大胆な氷のオブジェに、まず目を奪われる。ショーが始まると、

ランウェイには細かくカットされたラムの雪が舞い観客はすっかり氷の世界に！ デニムやケーブルのルックが、都会を離れ自然に遊ぶ女性をイメージさせる。モデルのパー・ラファエルは、ショーに続きアフターパーティにも登場。ゲスト400人が参加した豪華なパーティを盛り上げた。



右 赤のケーブルがキュート。雪や氷河などをモチーフにしたプリントも登場。
上左 モデルのパー・ラファエル(左)と、エスカーダオーナーのメガ・ミタル。
下左 エントランスのオブジェが、ゲストを氷の世界へ誘う。



年内にはイギリスだけでなく、アメリカや日本仕様の製品も発表予定だとか。
www.plumen.com



LONDON

エコとデザイン両立で あえて見せたい電球が登場

エコロジーな電球に切り替えたいけど、あのかたちがちょっと……と二の足を踏んでいた人に朗報！ プロダクト・デザイナー、ニコラス・ループが手がけたブルーメンは、デザインコンシャスなスタイルだけでなく、従来の品が必要とするエネルギーを80%までカットし、寿命も約8倍という優れたもの。インテリアの一部として、あえて見せたい電球だ。

PARIS

シックでフェミニン、ティラ・マーチパリ1号店誕生

日本でもファンが多いティラ・マーチがパリ1号店をオープン。6区に誕生した店は、明るい色の木材にワックスをかけたグレーのコンクリートによる、ナチュラルな素材と色の内装。タマラ・タイシュマンの“シック&フェミニン”なセンスのいいバッグと靴が際立つ。今年中には早くも2号店が登場の予定。ティラ・マーチの活躍はまだ続く。

下 50㎡の店内は商品を際立たせることを考慮した、無駄を省いたデザイン。タマラのセンスが光っている。



上 スタッズ付きもティラ・マーチらしくフェミニン。
下 黄色のスエードをねじってアクセントをつけたサンダル。

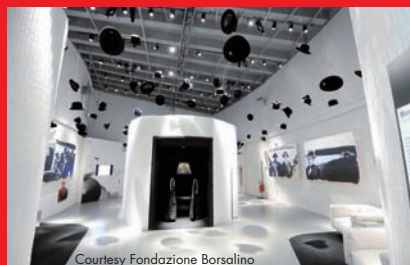


■Tila March
24, rue Saint Sulpice 75006
☎+33 (0) 1.43.26.69.20
🕒10:00~19:00 📅日・祝

MILAN

映画と帽子の素敵な関係 ボルサリーノの展覧会

チャップリンやインディーズ・ジョーンズが、もし帽子をかぶっていなかったら……。映画は味気ないどころか作品自体が成立しないかも？ そんな帽子と映画の密接な関わりを楽しく展示したボルサリーノの展覧会が開催中。帽子が登場する名場面を“エロティック”“ファニー”などテーマ別にビデオインスタレーションした小部屋めぐりが楽しい！



Courtesy Fondazione Borsalino

■「Il cinema con il cappello. Borsalino e altre storie」
~3/20
会場Triennale di Milano
Viale Alemagna,6
www.triennale.org

上 空中に浮かぶ帽子のインスタレーション。
右 『妖花』(1940年)のマレーネ・ディートリッヒ。



© Photomovie Collection

PARIS

パリのモード誌も大注目、ヴァネッサのヘッドアクセデ

アルザス出身のヴァネッサ・デュッツが作る帽子とヘア・アクセサリーのブティックがマルティール通り近くにオープン。スカーフ生地風の軽やかな布を使ったカチューシャ、水泳の帽子のようなキャップ、チャブカが大人気で、パリのファッション誌が次々モード・ページで取り上げている。ほか、彼女がセレクトしたクリエイターのビジュも取りそろえる。手に入りたい1品が見つかるはず！

■Vanessa Deutsch
19,rue Clauzel 75009
☎+33(0)1.42.80.06.57 🕒11:00~20:00
📅日・祝 www.vanessa-deutsch.com

キュートなショップに、カラフルな女性用と子供用のヘッド・アクセサリーが揃う。



Text: MIYUKI SAKAMOTO (London), KAORUKO DUCASTEL-VASUDA (Paris), EIKO SATO (Berlin), MAKIKO MONI (Milan), MEGUMI TAKAHASHI (Milan)